

## 10

## イングリッシュガーデンホテルレアント

## 企業概要

所在地:見附市新幸町5-10 電話:0258-66-1177

事業内容:ホテル、レストラン、ウェディング等

従業員数:50名うち雇用障害者数4名 URL:https://reant.jp/

※株式会社安武商事(五泉市)が経営するホテル



## 障害のある、なしに関わらず チャレンジしてほしい

## DATA BOX

現在の障害者雇用の状況

知的障害者3名 精神障害者1名

主な担当業務

会場設営、洗い場、客室清掃等

## 雇用の経緯

当ホテルは、本社の(株)安武商事が運営する事業の一つです。世の中の流れもあり、会社全体として障害者雇用を推進していくために、当ホテルにおいて平成25年から障害者雇用を開始しました。

当ホテルでは、雇用率達成のためというネガティブな考えは最初からなく、せっかく雇うのであれば、戦力として働いてもらいたいと考え、まずは障害者就業・生活支援センター(P.35参照)の紹介で職場実習を始めました。

職場実習をしてみて、十分に働いてもらえることが分かりましたので、順次障害者雇用を進め、現在は4名の方が働いています。

## 採用までのプロセス(一例)

- ① 障害者就業・生活支援センターからの紹介
- ② 職場実習
- ③ トライアル雇用
- ④ 正式採用

## point

## 1

## 業務を固定せずに、適性をみながら柔軟に変更

障害者が行う業務は、会場設営、食器やカトラリーの洗い物又は清掃業務が中心です。

職場実習では、業務内容をある程度固定した上で、まずは継続的に仕事が続けられるかどうかを判断します。一方で、実際に雇用した後は、あまり同じ業務に固定せずに、本人ともよく相談しながら、できるだけ色々な業務に携わってもらおうようにしています。

障害者の場合は、最初はどうしてもできないことが多いのですが、よく声を掛け、励ましながらか一緒に取り組むことで、少しずつ業務の範囲が広がっていきます。

ただし、同じ業務であっても、例えば、集中力の続かない人には短めに時間を区切ったり、逆に黙々と同じ作業を続けることが好きな人には時間を長めにとったりと、本人の適性をみながら、柔軟に対応するよう心がけています。



きれいに仕分けされたカトラリー

## 障害者であっても成長できる

当ホテルでは、従業員一人一人のチャレンジ精神を大切にしています。それは障害者も一緒に、特別扱いはせずに、できるだけいろいろな業務にチャレンジしてもらうようにしています。

障害者にも、各自の業務目標を定期的に設定してもらっていますが、例えば、客室の清掃業務であれば、次のようにスモールステップで目標を設定してもらい、成長を促しています。

- （第1目標）ゴミ捨てや備品のセットを行うことができる。
- （第2目標）水回りの清掃をきれいに行うことができる。
- （第3目標）上記の作業を素早く行うことができる。
- （最終目標）客室の清掃をすべて一人で行うことができる。



食器の片づけをする様子

このように、段階ごとに目標を設定しながら実施してもらうことで、障害者であっても必ず成長することができます。

### スタッフの業務負担の軽減が図られました

支配人 菱田さん

障害者雇用を始めて間もない頃は、どう接していいかわからない部分もありましたが、もともとが従業員同士が声を掛け合いながら、互いにフォローしあう社風であったこともあり、慣れるまでにそう時間はかからなかったと思います。

仕事においては、障害者と他の従業員との棲み分けがよくできてきました。障害者が裏方の作業をしっかりと行ってくれることで、他の従業員の負担が減り、その分お客様へのサービスに集中することができるなど、好循環が生まれています。



ホテル内にあるチャペル

**こんな課題どうしていますか？** 各自の業務を行いながら、障害者をサポートする体制がつかれない。

**A** 初めの頃はどうしても大変ですが、声をかけながら、根気強く指導することで、少しずつ一人で業務ができるようになるはずです。

### 支援機関

#### 笑顔の職場で

障害者就業・生活支援センター ハート 就業支援ワーカー 井上さん  
(P.35参照)

イングリッシュガーデンホテルレアント様は特別支援学校、就労支援事業所からの雇用の機会に当センターも関わらせてもらい、現在4名の障害者を雇用して頂いています。職場実習や職場訪問で、事業所の方やご本人のお話を聞かせてもらい、職場への定着に努めています。

職種柄、その日その日で違う状況の中、仕事を教えてくださることは大変だと思いますが、伺うたびに変化に合わせ適応できている姿をみて頼もしい存在になっていると感じられます。できることを少しずつチャレンジさせてもらっているからだと思います。また、気持ちよく働けるように考えて下さっていることに感謝の思いです。これからも長く働き続けられるように連携させていただきたいと思います。